



# よこすか市議会だより

# No.21

平成28年(2016年)  
8月16日号

## YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会  
編集 横須賀市議会だより  
編集委員会

# 常任委員会など新メンバーで審議

平成28年第2回定例会は、6月8日から24日までの17日間で開催しました。この定例会は、先の臨時会で常任委員会等の委員を改めて選任した後の最初の実質的審議になり、3億円余りを増額する平成28年度横須賀市一般会計補正予算をはじめ、議案19件、報告19件等についての審議を行いました。

6月8日、9日の本会議では、13名の議員が登壇し、市長、教育長、教育委員会委員長に対して一般質問を行い、活発な議論を展開しました。続いて、市長の市政運営における一般職の任期付職員任用及び任期後の採用問題について、100条調査特別委員長から中間報告がありました。

これを受けて6月24日の本会議において、冒頭、市長から今後の職員採用については十分に配慮し慎重に対応していく旨の発言がありました。

また、請願及び陳情をもとに、「教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書」、「神奈川県最低賃金改定等に関する意見書」の提出について全会一致で可決しました。

このほか、各常任委員会では6月15日、17日に市内の所管する施設等へ足を運び、現在注力している事業や現場の取り組みを視察しました。



旧横須賀製鉄所 スチームハンマー



米軍基地内のドライドック



東京湾第三海堡構造物・観測所



定水低砲台跡

「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～近代日本の躍動を体感できるまち～」のストーリーが、平成28年4月25日に日本遺産 (Japan Heritage) に認定されました。これらの写真は、そのストーリーを構成する文化財の一部です。



**第2回定例会 一般質問**  
小幡沙央里 議員 無所属みらい

**施設分野別実施計画・学校開放について**

**問** 施設分野別実施計画でどのように市民の意見を反映させるのか。

**答** 地域運営協議会や利用団体への説明会、アンケートなど。市民と市の考えが異なる場合も、意見を聞き、ニーズをとらえて合意を得て進めていく。

**問** 学校施設の開放を全ての学区で行ってはいかがか。

**答** 学校施設のセキュリティの確保、運営に関する

## 100条委員会 中間報告・職員採用問題

6月9日の本会議において「吉田市長の不透明な市政運営に関する調査特別委員会」(100条委員会)は付議事件のうち、「職員採用問題」の調査が終了しましたので、中間報告を行いました。この付議事件は、①吉田市長が旧知の間柄の人物を、自らの推薦により、平成22年5月に任期付職員として採用した。②当該人物は、市長選挙の際に吉田市長の後援会へ寄附をしていた。③当該人物は、5年間の任期終了後に、改めて正規職員として雇用された。これらの事実には、「情実人事」の疑いがあるため調査を行ったものです。「情実人事」については、当該寄附及び縁故情実人事の疑い、ともに関係法令に抵触しないとの判断に至りました。

しかし、一連の事実経過は、社会通念上の「情実人事」と受け止められる可能性があるものと委員会は判断しました。また、「情実人事」の疑惑以外にも、調査の結果、多くの問題点を認めました。特に、正規職員採用時の面接試験の際に、かつての推薦当事者である市長自らが面接官を担当したことは、採用試験が当該人物採用ありきの「出来レース」と目されてもおかしくないものと指摘しました。これらの問題点から言えることは、一連の過程は、公正さを失った情実人事であると市民に受け止められる可能性があり、本件全般の人事権行使には倫理観の欠如が認められると総括しました。そして、このような調査結果をもとに、市長(任命権者)及び人事当局に対し、公正な人事制度構築並びに適正な採用事務の執行及びその後の人事管理に関する改善措置を求めました。

(委員長 木下憲司)

わる開放管理員の確保等を含め、児童・生徒の安全や学校教育に支障のない範囲において、地域の需要を勘案しつつ検討していく。

**問** 今後のデュオよこすかのあり方を見直してはどうか。

**答** 現在は、女性のための相談室や、男女共同参画推進の情報収集、交流拠点として意義ある機能を有している。今後利用者等の意見も参考に、あり方を検討していく。

**山本けんじゅ 議員 無所属みらい**  
**DeNAベイスターズ2軍練習場の移転**

**問** 整備費用は、年1億9千万円の賃料で約20年かけて回収可能としているが財務能力はあるのか。

**答** 現状、ベイスターズの財務能力は非常に良好である。

**問** 本市と球団は地域貢献やスポーツ文化の醸成をどう行うのか。

**答** 可能な。大津球場と同規模の広さを確保し、小・中学生であれば、硬式野球が使用可能な規模を想定している。

**問** 運動施設は稼働率が悪い。指定管理者選考を見直すべき。

**答** 何らかの手を打つ必要があると考えている。

**答** 子ども対象の定期的な野球教室の開催、地元商店街や観光協会とイベントの開催も想定している。

**問** 移転に伴う佐原の代替球場は高校野球で使用

**答** 市内の経済活性化のために、地元業者への発注も検討する。

**高橋英昭 議員 研政**  
**施設配置適正化計画について**

**問** 現実を見て30%削減目標を17%削減に変更したと云うが、本当に見なくてはいけない現実とは30%削減しないと将来的に市の財政が傾いて、次世代に大きな負担を残すということではないか。

**答** 大変厳しいご意見だと受け止める。公共施設マネジメント白書で精査した際に、30%という数字が出てきているのは事実。市民サービスの低下

とならないようにするため、施設配置適正化計画の中で見込んだ17%という数字になった。

**問** 施設情報を一元管理し、横断的に取り組んでいると云うが、現実はそのうとは言い難い。いかが思われるか。

**答** 事務局としてしっかりと議論をハンドリングしていくように、再度私からも指示をしたい。

と云うことではないか。

ねぎしかずこ議員 日本共産党

高すぎて払えない国民健康保険料の引き下げ

**問** ここ数年の格差と貧困の進行が、低所得者が多い国民健康保険加入世帯においても深刻だ。負担率が県下19市中2番目に高い国保料の引き下げは急務だ。

**答** 貧困という課題には行政としても向き合わなければいけないと認識している。

**問** 県からの交付金が市に14億円しか入ってきていないが、所得格差の解消を図るといふ本来の目的に添えば47億円が入ってくるのが筋とのこと。であれば、財源として、不足分約32億円の交付を強く求めよ。

**答** これまでも県に求めてきたが、今後も努力を続けていく。

**問** 子育て支援策として、子どもがいる世帯の国保料のさらなる軽減を。

**答** 財政面に課題があり、現時点では軽減策の導入を検討していない。

葉山 直議員 無所属みらい

久里浜駅周辺の再開発について

**問** JRR久里浜駅周辺の土地利用方針策定の方向性は。

**答** 関東財務局やJR東日本の意向、地域住民の意見を伺いながら鉄道施設、駅前広場、道路等の再整備及び生活利便施設が集積した拠点市街地の形成に向けて土地利用方針案を策定する。

**問** 京急久里浜駅東口の再開発に向けた状況は。

**答** 市街地再開発事業の事業化を目指し再開発協

**問** JRR久里浜駅と京急久里浜駅周辺の再整備には、総合的な取り組みが必要ではないか。

**答** 久里浜駅周辺は住居や職場、学校があり多くの市民が利用している一方で、JRR引込み線に起因する交通渋滞やバスやタクシーの待機場所などの課題があり必要であると認識している。

大野 忠之議員 自由民主党

本市の歴史的資料の保存並びに活用について

**問** 本市は、長年にわたる市史編さん事業において、膨大な資料が蓄積されたが、この資料は、古代から現代までの横須賀地域の姿を映しだしているが、この多くの歴史的財産を今後どのように保存・管理するのか。

**答** 市史編さん事業で収集した歴史的な価値のある資料が劣化せず、また散逸しないように、さまざまな資料の特性に合わせた保管と管理が適切であると考えている。そのため、蔵書については図書館に、資料については博物館に保管し、適切に管理をしていきたい。

**問** アンケートで明らかとなった昼食を用意できない子の存在。このような現状と関連付けずに「中学校完全給食」を論じることはもはやできないと感じるが。

**答** 憂慮している。生徒の状況を含め検討を行っている。

**問** 昼食を準備できない子への調査と支援は。

**答** 生徒の状況をしっかりと把握しスクールソーシャルワーカー派遣など支援を引き続き行う。

**問** ユニセフの「子ども権利条約」には「子どもに最も良いことは何かを第一に」とある。この基本姿勢で捉えてほしい。

**答** 子ども達の心身の健全な発達の観点で検討中。

**問** 「中学校完全給食」は今までの教育予算とは別のプロジェクトでの予算立てか。

**答** そのご認識でかまわない。

大村 洋子議員 日本共産党

子どもを中心に据えた「完全給食」の実現を

**問** アンケートで明らかとなった昼食を用意できない子の存在。このような現状と関連付けずに「中学校完全給食」を論じることはもはやできないと感じるが。

**答** 憂慮している。生徒の状況を含め検討を行っている。

**問** 昼食を準備できない子への調査と支援は。

**答** 生徒の状況をしっかりと把握しスクールソーシャルワーカー派遣など支援を引き続き行う。

**問** ユニセフの「子ども権利条約」には「子どもに最も良いことは何かを第一に」とある。この基本姿勢で捉えてほしい。

**答** 子ども達の心身の健全な発達の観点で検討中。

**問** 「中学校完全給食」は今までの教育予算とは別のプロジェクトでの予算立てか。

**答** そのご認識でかまわない。



編さんした新横須賀市史

嘉山 淳平議員 無所属みらい

インバウンド対策／里山保全と学校との連携

**問** 観光政策における外国人観光客（インバウンド）の受け入れ方針は。

**答** 本市のあらゆる関係者が一体となり、観光振興、集客に取り組みたいかなければならない。

**問** 本市の客室数が非常に少ない現状から、「個人人民泊」の受け入れ家庭を増やすようサポートすべきではないか。

**答** 長井地区で行っている民泊の状況や、個人人民泊に対する今後の国の詳細な規制内容も精査し、市の取り組みを検討していく。

**問** 自然環境保全活用事業と学校教育が連携し、生徒たちが自然環境を学ぶ必要があると考えるが。

**答** 積極的に実践事例なども共有しながら、実践に移すように働きかけていきたい。



自然環境の中で米づくりを学ぶ小学生

県内初・関東学院大との包括的連携協定を締結

関東学院大学と横須賀市議会は包括的パートナーシップ協定を締結し、平成28年3月31日に規矩大義学長と板橋衛議長が調印式を執り行いました。大学と議会の連携は神奈川県内初となります。これまでも議会改革を重ねてきた当議会ですが、さらなる政策形成能力向上を狙いとして地域の総合大学である同大学との協定締結に至りました。

既に6月23日には規矩学長による議員研修会でのご講演を実施し、本年度中には政策の研究・検討の場を設け、議員の講義聴講や大学図書館の活用なども計画しています。議会側が大学の人的・知的資源を活用するとともに、大学側にも実践的な研究と学習の場を提供し、共に山積する地域課題の解決を目指していきます。



井坂 直議員 日本共産党

災害時における行政のあり方と原子力災害

**問** 防災教育を十分に受けていない非正規職員が4割いて、市民に対して災害対応は現状できない。震災を受けた多くの自治体は問題意識を持っているが。

**答** 雇用条件は正規と異なり限られている。それを踏まえた対応が必要になる。

**問** 福祉避難所を運営するにあたり障害を理由として差別することを禁止する障害者差別解消法は。合理的配慮が災害時

**答** 想定外を理由に、災害対応を後手に回してはいけないと思う。

**問** 原子力災害について、国の考え方が整理されたと言った3つのそこは解消されたか。

**答** 1つ残っており要望し続けていきたい。

**問** 災害は起きてみないとわからないと言ったが想定外があつてはいけないのでは。

**答** 想定外を理由に、災害対応を後手に回してはいけないと思う。

小室 卓重議員 無会派

子ども未来プラン／米軍の威嚇まがい行動

**問** 子ども・子育て支援新制度の利用者支援事業は、虐待の原因ともなる子育ての孤立化を防ぐため有効であるが、横須賀子ども未来プランでの位置づけは。

**答** 重点施策である地域子育て支援拠点事業（愛らんど）の相談機能の充実として位置付けている。

**問** 子育て支援員研修は、県・県内3政令市・本市の合同事業だが、研修のコースによっては横須賀会場が無いのはなぜか。

**答** 実績や経験がある事業者に委託した。計画のつくり込みに不手際があれば、次年度以降考えていくことになる。

**問** 米海軍による市民への威嚇行動と思われる件に対する市長の所見を伺う。

**答** 市民の安全を守る立場から、不当な行為へは積極的に確認、注視していく。



愛らんど(子育て支援センター)

小林 伸行議員 研政

議会答弁の適切性について

**問** 余裕教室の質問に、空き教室の話にすりかえて答弁した。不誠実ではないか。

**答** 悪意はなかった。大変申しわけない。

**問** 「余裕教室がない学校はある」と答弁したが、実際にはなかった。虚偽ではないか。

**答** 故意ではない。訂正し、謹んでおわびする。

**問** 誤りに気付いた時点で、なぜ答弁訂正を求めなかったのか。

**答** 本日、公の場で指

**問** 摘されるまで訂正せず、改めておわびする。

**問** 「中学校給食を民間実施した場合の費用削減額を追加検討する」との2年前の約束が不履行である。

**答** 方向性が決まらない中で調査には課題がある判断した。報告をせず申しわけない。

**問** 給食実施になるうがなるまいが、自らの口での約束は守るべきだ。

**答** そのとおり認識している。

※このほかに、青木哲正議員、藤野英明議員が一般質問を行いました。(紙面の都合上、質問記事は議員一人あたり年2回までの掲載となります。)

## 予算決算常任委員会

### 補正予算をはじめ、全議案を可決

予算決算常任委員会は、議長を除く全議員が委員となり、予算・決算議案及びその関連議案を審査します。

第2回定例会では、平成28年度横須賀市一般会計補正予算を含む3件の議案について、4つの部門別の分科会で詳細な審査を実施し、活発な質疑が交わされました。

その後、6月22日に常任委員会を開き、各分科会委員長から審査の報告を受けました。また、討論において、平成28年度補正予算のう

## 生活環境常任委員会(分科会)

### 町内会・自治会への補助金について議論

平成28年度補正予算案の審査では、市が町内会等からの申請受付と交付事務を行う(一財)自治総合センターの一般コミュニティ助成事業補助金に関して、単一町内会、連合町内会単位での申請だけでなく、少額であっても、複数の町内会がまとめて申請できるのかなど、制度に関する質疑が活発に交わされました。

そのほかの議案の審査では、更新時期を迎えたごみ収集車、救助工作車、消防ポンプ自動車の購入に関して、事故防止のための装備



救助工作車(写真は  
昨年度購入のもの)

の状況や車の使用期間に対する評価、購入費に対する国庫補助金の割合など

- 委員長** 杉田 惺  
**副委員長** 南まさみ  
 青木秀介  
 鈴木真智子  
 嘉山淳平  
 山本けんじゅ  
 山口道夫  
 角井 基  
 大村洋子  
 青木哲正

(委員長 杉田 惺)

について質疑がありました。また、契約議案に関しては、経年劣化に伴うリサイクルプラザの破袋機整備工事請負契約、横須賀ごみ処理施設建設関連工事の変更契約に関して質疑が行われ、採決の結果、議案についてはすべて可決されました。

その後、各部局からの報告の中で、施設配置適正化計画における

## 総務常任委員会(分科会)

### 観光推進に向けた観光モニターの実施

平成28年度一般会計補正予算の審査では、観光マネジメント推進事業は、インバウンド(訪日外国人観光)の推進のため、基地関係の外国人を対象にモニター観光を実施し、外国人の視点を取り入れようとするものですが、対象者を基地関係者以外に拡大する必要性等について質疑がありました。また、スタートアップ推進事業では、ドローンの実

## 常任委員会の審査から

## 教育福祉常任委員会(分科会)

### 中央こども園用地の定期借地の報告に議論沸騰

分科会における審査では、一般会計補正予算に関して、「未病」推進に向けた取り組み、同調査等を委託で行うことのは非など、他、B型肝炎ワクチン接種による対応について、また、福祉施設入所者費用徴収条例中改正に関して、条例改正に伴う多子計算方法の変更点についての質疑がありました。

常任委員会における審査では、婦人保護施設の設備等に関する基準の改正に関しては、条例改正におけるパブリック・コメントへの対応等の質疑がありました。採決の結果、議案6件すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

請願については、一部採択すべきものとし意見書案の提出となりました。陳情については、1件が審査終了となりました。

- 委員長** 関沢敏行  
**副委員長** 長谷川昇  
 井口一彦  
 渡辺光一  
 本石篤志  
 小幡沙央里  
 伊藤順一  
 西郷宗範  
 高橋英昭  
 藤野英明

(委員長 関沢敏行)

次に、本委員会の所管施設に関する配置適正化実施計画(素案)が報告されました。その中では、計画自体の説得力ある説明とより詳しいデータ分析を求めるといった質疑が多岐にわたりました。また、(仮称)中央こども園整備事業建設用地については、国と本市の間で50年間の定期借地で交渉を進めることのは非等、今後の方向性について議論が沸騰しました。



した経緯とそれに伴う市民球場の代替措置の説明がありました。ベイスターズファーム練習場を追



ベイスターズファーム練習場移転後のイメージ図

浜公園内に整備することで地域活性化への貢献と経済効果、長期にわたる契約への懸念などの質問が行われました。(委員長 田辺昭人)

- 委員長** 田辺昭人  
**副委員長** 葉山 直  
 大野忠之  
 土田弘之宣  
 矢島真知子  
 加藤真道  
 小林伸行  
 ねぎしかずこ  
 上地克明

## 都市整備常任委員会(分科会)

### ベイスターズ追浜総合練習場整備などで議論

平成28年度一般会計補正予算に關する審査では、横浜DeNAベイスターズ追浜公園施設改修事業等における国庫補助の内訳及び公債費借入率の算定根拠、同事業における駐車場の確保策並びに混雑解消方法、新たな市民の野球場整備案に対する野球・ソフトボール関係団体の反応、本市のスポーツ文化醸成に向けた横浜DeNAベイスターズへの働きかけ、追浜公園総合練習場の20年の賃借契約を10年ごとの契約とした理由などについて、質疑が活発に交わされました。

また、子どもたちが自由に遊べる場所の創出を趣旨とした陳情の審査では、公園利用者である子どもたちの意見と近隣住民や地元町内会等の意見との合意形成方法、公園で事故が起きた際の管理責任の所在などについて、質疑が交わ



横浜DeNAベイスターズのファーム総合練習場の追浜移転に伴い試合数増が見込まれる横須賀スタジアム

されました。陳情の趣旨について了承するという意見が多かったものの、陳情者以外の子どもたちの声や地域の声を聞く必要性があることから、すぐに対応することは難しいという意見も出された結果、各会派の意見が一致せず、審査を終了しました。(委員長 永井真人)

- 委員長** 永井真人  
**副委員長** 石山 満  
 木下憲司  
 松岡和行  
 二見英一  
 はまのまさひろ  
 伊東雅之  
 伊関功滋  
 井坂 直  
 小室卓重

### 災害時における議会のあり方検討会を設置

災害発生時において、横須賀市議会及び市議会議員が必要な機能を維持し、市民の安全確保と災害復旧に向け迅速かつ適切な活動を行うことができるよう、災害時における議会のあり方検討会を設置しました。

災害発生時に議会にできること、議員に求められる役割や行動指針などを考え、大規模な災害が発生した際においても、議会としての機能を維持し復旧・復興に早期に取り組むことができる計画づくりを目指していきます。

# 平成28年第1回臨時会

5月16日に第1回臨時会を開会しました。この会議では、3つの議会内役職者の選出と常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任を行いました。

## 議長あいさつ

横須賀市議会は本年3月、関東学院大学と「包括的パートナーシップ協定」を締結しました。この協定は、大学の持つ人的・知的資源を有効活用することで、地域社会が抱える様々な課題解決に協力して取り組むことを目的としております。今後も議会の「現場力」「政策力」「発信力」に磨きをかけ、より質の高い議会をめざして全員野球で頑張ります！



議長  
板橋 衛  
(留任)

## 副議長あいさつ

私にとっては大役ですが、第90代副議長に就任させていただきました。議長に学び、ご指導をいただき、また、先輩、同僚議員のご支援を得ながら、円滑な議会運営に努力し重責を果たしていく所存です。また、本市の抱える難題、課題にも、持ち前の『元気』と『勇気』と『笑顔』で挑戦し、そして、更なる議会改革も推し進めます。



副議長  
はまのまさひろ

## その他の議会内役職者

- 監査委員 松岡和行、永井真人(留任)
- 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員 石山 満
- 神奈川県内広域水道企業団議会議員 山口道夫

## 議会運営委員会

- 委員長 鈴木真智子 井口一彦、大野忠之、石山 満
- 副委員長 嘉山淳平 永井真人、伊東雅之、杉田 惺、小林伸行、長谷川昇

# 平成28年第2回定例会

# 審議結果

○は賛成、×は反対

議案番号	賛否が分かれた議案	会 派						無党派			
		自由民主党	公明党	無所属みらい	市政同友会	研 政	日本共産党	青木哲正	上地克明	小室卓重	藤野英明
		8人	7人	7人	6人	5人	3人				
56	平成28年度横須賀市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
58	横須賀市個人番号の利用に関する条例中改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
63	指定通所支援等の事業の人員等に関する基準等を定める条例中改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
64	指定障害福祉サービス等の事業の人員等に関する基準等を定める条例中改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
65	指定地域密着型サービスの事業の人員等に関する基準等を定める条例中改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
66	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員等に関する基準等を定める条例中改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
73	横須賀ごみ処理施設建設に伴う新設道路及び造成工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

\* その他議案12件については、全会一致で可決または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。  
\* 議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

## 【会派所属議員名】

- 自由民主党 木下憲司 田辺昭人 青木秀介  
松岡和行 大野忠之 渡辺光一  
南まさみ 井口一彦
- 公明党 板橋 衛(議長) 鈴木真智子  
土田弘之宣 石山 満 関沢敏行  
本石篤志 二見英一
- 無所属みらい はまのまさひろ 矢島真知子 永井真人  
嘉山淳平 葉山 直 小幡沙央里  
山本けんじゅ
- 市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤眞道  
西郷宗範 杉田 惺 山口道夫
- 研 政 角井 基 伊関功滋 小林伸行  
高橋英昭 長谷川昇
- 日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

## 意見書

件 名	結 果
教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	可決(全会一致)
神奈川県最低賃金改定等に関する意見書の提出について	可決(全会一致)

## 請願・陳情

件 名	結 果
請願 教職員定数の改善、義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1の復元及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	一部採択(意見書案提出)
陳情 電動車いす利用者に対するタクシー券交付に代わるバス券の交付について	審査終了
陳情 神奈川県最低賃金改定等に関する意見書の提出について	趣旨了承(意見書案提出)
陳情 所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について	審査終了
陳情 子どもたちが自由に遊べる場所の創出について	審査終了

\* 審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

## 熊本地震により被災された方々へ義援金

このたびの熊本地震により被災された方々に対して、横須賀市議会として心からのお見舞いを申し上げますとともに、被災地域が一日も早く復旧されることを願い、九州市議会議長会に対し、50万円の義援金を送りました。

## 編集後記

今年度から、市議会だよりは年4回発行となります。編集の担当メンバーも変わりました。市民の皆様のご意見も多様です。市議会もいろいろな考えを持っている議員で構成されています。

紙面が限られている中で、議員諸氏の協力を得て、議会の活動を的確に報告したいと考えます。



## 第3回定例会のお知らせ

\* 時間の記載がないものは10時開会です。  
\* 特別委員会については、日程が追加される場合があります。

開催日	会議名	開催日	会議名
9月2日(金)	本会議、予算決算常任(本会議終了後)	9月20日(火)	議会運営
9月5日(月)	(予備日)	9月21日(水)	本会議、予算決算常任(本会議終了後)
9月7日(水)	教育福祉常任(予決算分科会)、都市整備常任(予決算分科会)	9月23日(金)	(予備日)
9月8日(木)	(予備日)	9月27日(火)	予決算分科会(教育福祉、都市整備)
9月9日(金)	総務常任(予決算分科会)、生活環境常任(予決算分科会)	9月28日(水)	予決算分科会(総務、生活環境)
9月12日(月)	(予備日)	9月29日(木)	予決算分科会(教育福祉、都市整備)
9月13日(火)	観光立市推進特別委員会 吉田市長の不透明な市政運営に関する調査特別委員会(13時)	9月30日(金)	予決算分科会(総務、生活環境)
9月14日(水)	(予備日)	10月3日(月)	(予備日)
9月15日(木)	予決算理事会、予算決算常任(11時)	10月4日(火)	(予備日)
9月16日(金)	(予備日)	10月12日(水)	予決算理事会、予算決算常任(11時)
		10月13日(木)	(予備日)
		10月14日(金)	議会運営、本会議(14時)